

エイズの感染を防ぐために

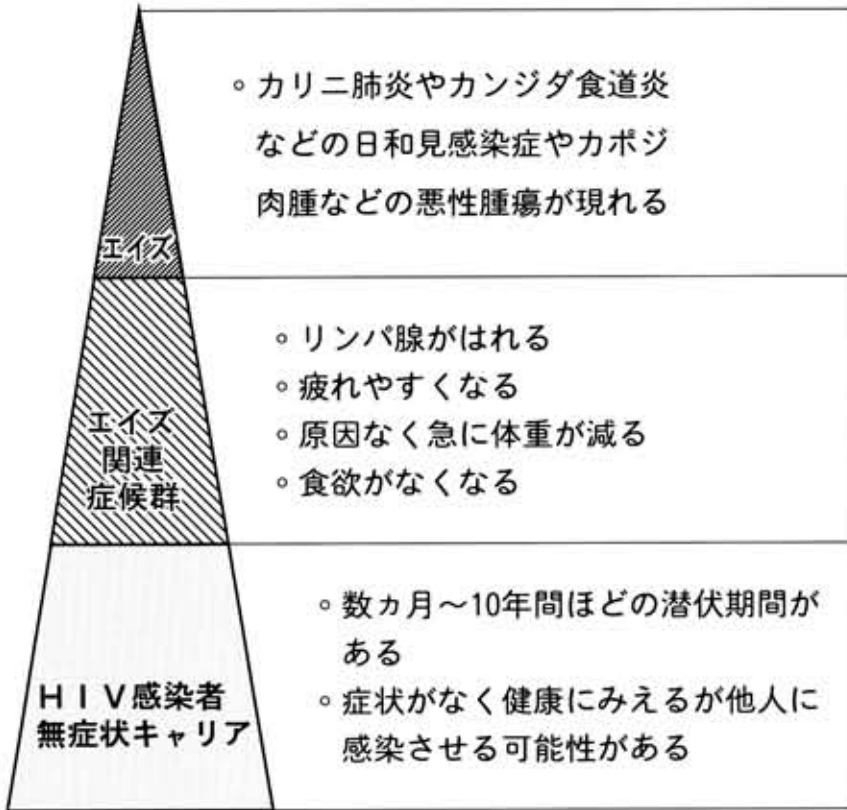
エイズは感染経路が限られているために容易に予防できます。

まず「セーフター・セックス」(より安全なセックス)を守ることが大切です。

- ① 多数の人とセックスしない。
- ② 不特定多数の人と性交渉をもった人とのセックスは注意する。
- ③ コンドーム(品質保証されたもの)は感染予防に有効です。

また、血液を介しても感染は起こります。基本的に他者の血液には触れないような注意が必要です。カミソリなど、血液のつきやすい用具の共用もやめましょう。

エイズに感染するとどうなりますか



エイズは簡単にうつらない

HIVは非常に感染力の弱いウィルスなので、感染者といっしょに生活する、仕事をするなどの日常生活では感染しません。

- 会話や会議、せきやくしゃみ
- 蚊やハエ、ノミなどや猫などの動物
- 理・美容院
- 洋式トイレの便座
- 握手や抱擁、軽いキスなどの身体的接触
- 電話や事務用具、楽器などを共用する
- プールやシャワー、銭湯などの共同浴場
- 食器の共用、宴会での返杯や同じ鍋をつつく

こんなことでは感染しません

感染の不安を感じたら

……悩んでないで検査を受けましょう。

HIVに感染しても自覚症状はありません。現段階では、感染の有無を確かめる方法はHIV抗体検査を受ける以外にありません。

〈検査の方法〉

血液を5cc程採ります。検査は慎重を要するため、2ステップで行われます。

〈注 意〉

感染後、すぐに抗体はできません。HIVの抗体ができるにはHIVが体内に侵入してから6～8週間かかります。



《検査・相談ができる場所》

ほとんどの保健所で行っています。(無料)
保健所での検査は匿名で受けられますので、氏名や住所をいう必要はありません。検査結果や相談内容は秘密として絶対に守られます。一般病院でも、6,000～20,000円程度で検査は受けられます。

向陽保健所 933-1151 (保健指導課予防係)
財エイズ予防財団 0120-177-812 (平日AM10:00～PM5:00)

エイズとの共存のために

もしあなたの周囲にHIVに感染した人がいても今までと異なる態度をとる必要はありません。HIVに感染した人は、病気とだけなく、偏見など、社会的なさまざまなプレッシャーと闘っています。同じ時代を生きる人間として、共に手を取り合いましょ。そして誤解や偏見をなくし、感染者も健常者も社会とともに暮らしていけるようになればより多くの人が検査を受けるようになるでしょう。それがエイズの蔓延を防ぐことにつながります。